

第47回地方公務員共済組合連合会資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：令和6年6月25日（火） 11：00～12：00
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席委員：
 - ・若杉座長 ・川北委員 ・喜多委員 ・高山委員 ・竹原委員
 - ・徳島委員
4. 議 事
 - （1）令和5年度各積立金の管理及び運用に関する運用報告書（地共連）
 - （2）令和5年度各積立金のリスク管理の状況（地共連）
 - （3）退職等年金給付調整積立金の基本ポートフォリオの検証
 - （4）資産運用立国に係る対応状況
 - （5）オルタナティブ資産への投資状況
 - （6）令和5年度の運用の振り返り及び令和6年度の資産配分状況

〈議事の概要〉

- ・事務局から上記議題について資料の説明が行われた。
- ・その後、意見交換及び質疑応答が行われた。

（4）資産運用立国に係る対応状況

【委 員】

「必要に応じて、PRIのセミナー等に参加し、知見の向上や他のアセットオーナーとの関係構築に努める」ということについて、ぜひ進めていただければと思う。

グローバルなアセットオーナーのコミュニティーに入って、情報収集、発信をしていただきたい。

【事務局】

特に新しい課題について、世界の年金ファンドがどう取り組んでいるかということは、参考になる部分だと思うので、そうした意味での息の長い取組の中で、我々のプレゼンスを次第に高めていくことを考えていきたい。

(5) オルタナティブ資産への投資状況

【委員】

為替の要因を除いたらどうなるかを年に一度、見せていただきたい。

【事務局】

検討させていただく。

【委員】

伝統的資産に対する優位性などの数値も追加され、資料が充実してきた。

一方で、オルタナティブ資産に関しては、必ずしも数値管理だけで済むという問題でもなく、不動産など、計数だけでは見えにくいリスクがあるが、実査はしているか。

【事務局】

国内については、コロナが終わって、最近顧客向けのプロパティツアーもあるので、様々な施設を直接見に行っている。

また、海外についても、オルタナティブ投資を始めた初期には行っていたが、コロナで一旦行くことができなかった。今年度から、改めて外国の運用者の施設の運用状況なども実際に確認していくことをやっていきたいと考えている。

【委員】

いろいろな分析が加えられて、分かりやすくなったし、詳細が見えるようになってきたと思うので、引き続きお願いしたい。

伝統的資産とオルタナティブ資産との間のパフォーマンスの差というのが本当にあるのか。昨今、いろんな人たちがオルタナに目を向けている中で、いろんなものがオルタナティブ資産と称して入ってくる可能性がある所以、引き続ききちんと評価をしていただきたい。

【事務局】

年度ごとのパフォーマンスだけ見て、今年は非常にオルタナがいい、この次の年は全然駄目、という議論になってしまうことがあるが、そもそも性格の違うものを分散投資していくことで負けがないようにすること、手堅くやっていくことが非常に大きな要素だと思う。

その上で、しっかり内容の分析や研さんを加えながら、運用していきたい。

(6) 令和5年度の運用の振り返り及び令和6年度の資産配分状況

【委員】

令和5年度及び令和6年度、こういった運用をしていて特に問題はない

と思っているのだが、リバランスの回数が増えているところで、リバランスのコスト面での検証というのも、どこかのタイミングでやったほうがいいと思っている。

リバランスは、どうしても売買コストがかかってしまうので、本当にそれがパフォーマンスに見合ったものになっているのかどうかといった観点も、どこかのタイミングで検証をお願いしたい。

【事務局】

非常に大事なポイントだと思う。しっかり検証をしていきたい。

以上